

「中国・アジア」ダイジェスト

2013.05.27-05.31

*記事は東京発行・最終版

CHINA

5月27日(月)

アイダ、ジャガーから受注
中・英工場向け/プレスライン
アイダエンジニアリングは、英ジャガー・ランドローバーから、自動車の車体を成形する大型サーボタンデムプレスラインと量産準備用のプレス機を受注した。英国、中国の両工場向け。(6面)

5月28日(火)

安川電機、世界で同時刷新
産口ロ/中・米に照準
安川電機は、同社として初めて産業用ロボットの主力機全種を世界同時に刷新する。工場省人化が進む中国や米国で口

安川電機の主力ロボットと
他メーカーの商品展開

アーケ接続 ロボット	ファンダックが12年に 低価格機
スポット接 ロボット	不二越、川崎重工業 が11年に、ファンダックが13年に新型機
ハンドリング ロボット	KUKAロボターが 12年に新型機
パレタイジ ングロボット	ファンダックが13年に 新型機

ボットの需要が高まる中、競合他社に先駆けてシェア拡大を狙う。(1面)

医療機器・中・米を攻略
戦略の使い分けカギ

世界の医療機器市場は急成長。現在の約30兆円が2017年には45兆円に。日本勢が狙う市場は、成長が続く中国と、依然世界最大の米国だ。二つの戦略を使い分けるのがカギ。(深層断面=38面)

小林製薬、漢方薬原料の子会社
生薬調達・漢方エキス製造

小林製薬は、安徽省合肥市に漢方薬の原料調達の子会社を6月中に設立する。生薬調達や漢方エキス製造など、小林製薬が日本で販売している漢方製剤の原料を供給する。(3面)

アマダ、自動化ニーズに対応
上海・板金機械の新工場が稼働

アマダは、上海に板金機械の新工場を稼働させたことで、現地の普及価格帯への供給体制が整った。周辺装置も生産



稼働した上海板金機械工場(アマダ)

し、人件費上昇や人材確保難で急速に高まる自動化ニーズに対応する。(6面)

立命館大、大連理工大に新学部

グローバルIT人材を育成
立命館大学は、中国の大連理工大学と共同で新学部を開設する。9月に大連理工大内に設置し、中国人生徒を中心に諸外国の学生も受け入れてグローバルIT人材の育成を目指す。(29面)

山八歯材、中国に新工場築

人工歯・インプラント/年2億本
山八歯材工業は、中国で人工歯など歯科材料を増産する。中国工場に新工場築を6月完成、生産能力を年間2億本に倍増する。入れ歯用の人工歯やインプラント、その材料を生産。(35面)

5月29日(水)

鬼怒川ゴム、中国企業に出資
35% / 防振ゴム部品技術供与

鬼怒川ゴム工業は、中国地場の自動車向けゴムメーカー河南科威に資本参加する。3億円を出資。出資比率は35%。技術供与し防振ゴム部品を生産。日産自動車の現地合弁会社に供給。(5面)

ホンダ、広東第3ライン着工
年産12万台/稼働2015年に延期

ホンダは、広州ホンダの広東省の增城工場の敷地内で完成車の第3ラインとエンジン工場を着工した。2015年に稼働。中国での日本車不買の影響で延期になった。年産能力は12万台。(5面)

トイザラスと共同出店

イオンファンタジー
イオンファンタジーは、中国で玩具専門店チェーンの米トイザラスと共同出店

州ナルサブル地区で稼働した2輪車の第3工場の年産能力を2013年度中に5割増強する。年産120万台から拡張して180万台まで増やす。(5面)

国際帝石、権益65%に

インドネシア LNG プロ

国際石油開発帝石は、インドネシアのアララムセラ鉱区で開発準備中の「アバディ液化天然ガス(LNG)プロジェクト」の権益比率を5%増加し65%に。現地会社が出資引き揚げ。(14面)

5月30日(木)

アジア中心に参加50件以上

スマートコミュニティー

日本企業が海外で参加するスマートコミュニティー事業計画が50件以上に上ることが分かった。人口増加や経済成長でエネルギー使用が急増しているアジアを中心に参加事業が多い。(1面)

「インド新幹線」受注へ前進

日印首脳会談

安倍晋三首相は、インドのシン首相と会談。ムンバイ・アーメダバード間の高速鉄道計画の共同調査で合意。日本側が受注を目指す新幹線システムの採用に大きく前進した。(3面)

岡三、比RCBC証券と提携

投資情報、円滑入手

岡三証券は、フィリピン大手銀行・リサール商業銀行傘下のRCBC証券と業務提携する。岡三証券は株式注文を取り次ぐほか、投資情報を円滑入手できる体制を構築する。(3面)

タイでメガソーラー完成

シャープ/合計84MW

シャープは、三菱商事の子会社が出資するタイの発電事業者NEDから建設を受注した同国最大のメガソーラーが完成。完成したのは10.3MW。隣接区画と合わせ84MWに。(10面)

ベトナムで微細加工機生産

TANOI/ビーエムティー

TANOIとビーエムティーは、宇都

する。現地のショッピングセンターに、トイザラスの店舗とイオンファンタジーの遊戯施設を併設。10月1号店。(15面)

アーネスト、ベトナム第2稼働
車用再生部品/1.5倍23万個

アーネストは、自動車用再生部品のベトナム第2工場を6月にも稼働させる。第1工場で中古部品を分解、洗浄、加工し、第2工場で組み立てる。1.5倍の約23万個に。(29面)

5月30日(木)

アイシンAW、AT部品増産
4倍・年52万台分/新工場向け

アイシンAWは、天津市にある自動変速機工場で構成部品の生産を2014年末をめどに増強する。約50億円投資。年産能力を4倍の52万台分に。増強分は隣接地に建設する新AT工場に供給。(1面)

ADEKA、中韓の開発強化
上海に樹脂添加剤の開発拠点

ADEKAは、中国と韓国で研究開発機能を強化する。上海市近郊に樹脂添加剤の開発拠点を設ける。韓国にはスマホのDRAM材料の評価設備と人員増強。需要地で開発機能を高める。(13面)

5月31日(金)

プレス機械、中国製販で提携
能率機械製作所・リール/月産30台

能率機械製作所とリールは、中国でのプレス機械の製造・販売で提携した。中国企業との合弁工場で、高速精密プレス、難加工材加工用プレスなど6機種を生産。月産30台。(8面)

次回は -

10日(月)は新聞休刊日ですので、「中国・アジアダイジェスト」面の次回は17日(月)に掲載します。

三菱電、レーザー加工機20%増
中国投入タイプ/最高の600台

三菱電機は、2014年3月期のレーザー加工機の販売目標を、20%増の600台に設定。同社として過去最高の台数。中国投入のCO22次元レーザーの発振器出力3.2kW機を戦略機とする。(9面)

クオリカ、アジア展開でOJT
中国・シンガポール/人材派遣

クオリカは、加速する海外展開に対応するため、グローバル人材の育成を強化する。中国とシンガポール拠点に人材を派遣、現地でOJT。主要顧客・コマツの海外進出に合わせて展開。(12面)

TEL OP

ひと

安さで勝負

中国・海天華遠副総理の楽曉東さん。世界最大の射出成形機メーカーの海天国際グループで国外向け製造販売を手がける。「初期費用の安さと省エネルギーによるランニングコスト低減で貢献したい」。大阪に新設したショールームの開所式でいさつした。(27日=6面)



タイヤベトナムなど8カ国17人の医療関係者が視察(九州保健福祉大)

アジア医療技術者の技術向上
宮崎県など/タイから受け入れ

宮崎県は、外国人医療技術者の技術力向上支援に2013年度乗り出す。タイから看護師や医療技術者を受け入れ、人工透析を中心とした操作研修を九州保健福祉大学、大分県などと行う。(37面)

TEL OP

豊田通商、インドネシア社に出資
アストラオートパート(30日3面)

ヤンゴンに事務所、物流事情調査
日本トランシスティ(30日16面)

インドネシア子会社を増資
興銀リース(30日19面)

レンゴー、タイ2社の株取得
年産15%増/80万t(31日21面)

東南ア投資ファンドに出資
リサ・パートナーズ(31日29面)

ひと

成功も苦い経験も

「成功も、苦い経験も学ぶ」と覚悟を決めるのは、タイ国鉄総裁のプラバット・チヨンサングウアンさん。JR九州と協力関係構築に関する覚書を交わした。古い車両を改造した観光列車を「来年には走らせたい」と、JR九州側が驚く場面も。早くも関係は加速。(29日=15面)

全日本空輸は、貨物事業で機材導入と路線拡大を進め、2015年度黒字化へ。貨物機を年1機増やし1213機に。アジアを中心に路線開設、那覇空港の貨物拠点を軸にネットワークを拡充。(25面)

ANA、貨物黒字化へ
アジア拡充/貨物13機体制

岡三証券は、フィリピン大手銀行・リサール商業銀行傘下のRCBC証券と業務提携する。岡三証券は株式注文を取り次ぐほか、投資情報を円滑入手できる体制を構築する。(3面)

タイでメガソーラー完成
シャープ/合計84MW

シャープは、三菱商事の子会社が出資するタイの発電事業者NEDから建設を受注した同国最大のメガソーラーが完成。完成したのは10.3MW。隣接区画と合わせ84MWに。(10面)

ベトナムで微細加工機生産
TANOI/ビーエムティー

TANOIとビーエムティーは、宇都

貨物向けの機材拡大や路線開設を進める(ANA)

ベトナム物流施設、日系に仲介
ホンダロジコム/専門サイト開設

ホンダロジコムは、ベトナムの物流施設を日系企業に仲介する事業を始める。物流事業を現地で展開する中で集めた物流施設の情報を提供。施設情報を載せた専門サイトを開設する。(25面)



貨物

向け

機材

拡大

や

路線

開設

を

進める

(ANA)

貨物

向け

機材

拡大

や

路線

開設

を

進める

(ANA)

貨物

向け